

## ジフェノコナゾール(案)

今般の残留基準の検討については、関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

(1) 品目名：ジフェノコナゾール [ Difenoconazole (ISO) ]

(2) 用途：殺菌剤

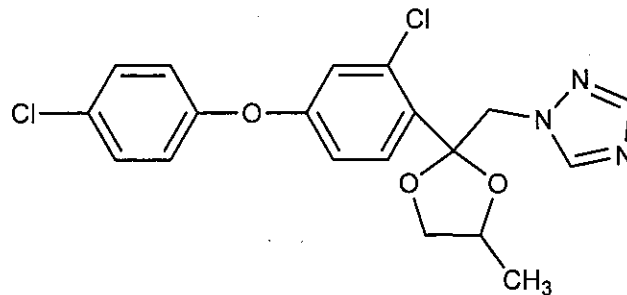
トリアゾール系殺菌剤であり、糸状菌の細胞膜のエルゴステロール生合成阻害により殺菌作用を示すと考えられている。

(3) 化学名：

3-chloro-4-[(2*RS*, 4*RS*; 2*RS*, 4*SR*)-4-methyl-2-(1*H*-1, 2, 4-triazol-1-ylmethyl)-1, 3-dioxolan-2-yl]phenyl 4-chlorophenyl ether (IUPAC)

1-[2-[2-chloro-4-(4-chlorophenoxy)phenyl]-4-methyl-1, 3-dioxolan-2-ylmethyl]-1*H*-1, 2, 4-triazole (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{19}H_{17}Cl_2N_3O_3$
分子量	406.26
水溶解度	15 mg/L (25°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 4.4$ (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

また、西洋わさび、とうがらし等に係る残留基準設定についてインポートトレランス申請がされている。

(1) 国内での使用方法

①10%ジフェノコナゾール水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジフェノコナゾールを含む農薬の総使用回数
りんご	黒星病	2000～4000倍	200～700 L/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	3回以内
	赤星病 黒点病	4000倍					
	斑点落葉病	2000～4000倍					
	うどんこ病 モニリア病	2000～3000倍					
なし	黒斑病 輪紋病	2000倍					
	黒星病 赤星病	4000倍					
もも	灰星病 黒星病	2000倍		収穫前日 まで			
かき	うどんこ病 落葉病 炭疽病	3000倍					
おうとう	灰星病	2000倍		収穫7日 前まで			
うめ	黒星病 すす斑症	3000倍					
すいか	つる枯病 炭疽病	2000倍	200～400 L/10a	収穫前日 まで	2回以内		
メロン	つる枯病						
茶	炭疽病 もち病 網もち病 褐色円星病			摘採14日 前まで			

②10%ジフェノコナゾール顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジフェノコナゾールを含む農薬の総使用回数	
りんご	黒星病 赤星病	3000～4000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	斑点落葉病 うどんこ病 黒点病	3000倍						
	モニリア病	2000～3000倍						
なし	黒星病 赤星病	4000倍		2000倍				
	輪紋病 黒斑病							
かき	うどんこ病 炭疽病 落葉病	3000倍		収穫前日まで				2回以内
おうとう	灰星病	2000倍						
もも	灰星病 黒星病							
ネクタリン	灰星病 黒星病							
すもも あんず	灰星病							
うめ	黒星病		2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内			
	すす斑症	3000倍						
マルメロ	ごま色斑点病	2000倍	200～400 L/10a	収穫前日まで	3回以内			
メロン	つる枯病 うどんこ病							
すいか	つる枯病 うどんこ病 炭疽病							
セルリー	斑点病							
トマト	葉かび病 すすかび病							
きゅうり	うどんこ病 黒星病							

②10%ジフェノコナゾール顆粒水和剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジフェノコナゾールを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	うどんこ病	2000 倍	200~400 L/10a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
なす	うどんこ病 すすかび病			収穫前日 まで			
ピーマン	うどんこ病						
いちご							
茶	炭疽病 もち病 網もち病 褐色円星病	200~400 L/10a	摘採 7 日前 まで	2 回以内	2 回以内		

③25%ジフェノコナゾール乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジフェノコナゾールを含む農薬の総使用回数
てんさい	褐斑病	750 倍	25 L/10a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内
		2000~3000 倍	100~120 L/10a				
	斑点病	3000 倍					
だいた	紫斑病	3000~5000 倍	100~300 L/10a	開花後~ 収穫 7 日前 まで	2 回以内	2 回以内	

④1.25%ジフェノコナゾール・62.5%マンゼブ水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジフェノコナゾールを含む農薬の総使用回数
りんご	赤星病 斑点落葉病 黒点病 黒星病 うどんこ病	500 倍	200~700 L/10a	収穫 60 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内

⑤0.0050%ジフェノコナゾール・0.00050%エマメクチン安息香酸塩・0.0050%チアメトキサム液剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジフェノコナゾールを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	原液	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	葉かび病					
きゅうり	アブラムシ類			2回以内		
	コナジラミ類					
	うどんこ病					
キャベツ	アオムシ		収穫14日前まで	3回以内		
いちご	アブラムシ類	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内	
	ハダニ類					
	うどんこ病					
なす	アブラムシ類	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内	
	コナジラミ類					
	ハダニ類					

(2) 海外での使用方法

①23.2%ジフェノコナゾール乳剤 (米国)

作物名	1回当たりの使用量	総使用量	使用時期	使用回数	使用方法
アブラナ科 葉菜類	0.08-0.114 lb. ai/A	0.32-0.46 lb. ai/A	収穫前日まで	4回以内	茎葉散布
ウリ科野菜類	0.08-0.114 lb. ai/A	0.32-0.46 lb. ai/A	収穫当日まで	4回以内	茎葉散布
鱗茎野菜	0.08-0.114 lb. ai/A	0.32-0.46 lb. ai/A (ねぎは合計0.34lb. ai/A、たまねぎ鱗茎は0.46 lb. ai/Aを超えないこと)	収穫7日前まで	4回以内 (たまねぎ) 3回以内 (ねぎ)	茎葉散布
かんきつ類	0.08-0.125 lb. ai/A	0.32-0.5 lb. ai/A	収穫当日まで	4回以内	茎葉散布
果菜類	0.07-0.11 lb. ai/A	0.28-0.46 lb. ai/A	収穫当日まで	4回以内	茎葉散布
ブドウ	0.08-0.114 lb. ai/A	0.32-0.46 lb. ai/A	収穫7日前まで	4回以内	茎葉散布

ai: active ingredient (有効成分)

②25%ジフェノコナゾール乳剤 (豪州)

作物名	1回当たりの 使用量	総使用量	使用時期	使用 回数	使用方法
アボカド	100g ai/ha	600g ai/ha	収穫当日まで	6回以内	茎葉散布

③23.9%ジフェノコナゾール乳剤 (EU)

作物名	1回当たりの 使用量	総使用量	使用時期	使用 回数	使用方法
パセリ	119.5g ai/ha	239g ai/ha	収穫14日前まで	2回以内	茎葉散布

④25%ジフェノコナゾール乳剤 (EU)

作物名	1回当たりの 使用量	総使用量	使用時期	使用 回数	使用方法
西洋わさび	125 g ai/ha	375 g ai/ha	収穫14日前まで	3回以内	茎葉散布
サルシフィー					

⑤12.5%ジフェノコナゾールフロアブル (EU)

作物名	1回当たりの 使用量	総使用量	使用時期	使用 回数	使用方法
西洋わさび	125 g ai/ha	375 g ai/ha	収穫14日前 まで	3回以内	茎葉散布
サルシフィー					
チコリ (ウィットルー フ)	125 g ai/ha	250 g ai/ha	根部生産 (圃場) 収穫14日前 まで	2回以内	茎葉散布
	156 mg/m <sup>2</sup> (1560 g ai/ha)	156 mg/m <sup>2</sup> (1560 g ai/ha)	促成栽培中 または促成 栽培後 (屋内) 収穫21日前 まで	1回以内	暗条件下で水 耕チャンバー に散布
チコリ (根部)	125 g ai/ha	250 g ai/ha	収穫14日前 まで	2回以内	茎葉散布

⑥25%ジフェノコナゾール乳剤 (カナダ)

作物名	1回当たりの 使用量	総使用量	使用時期	使用 回数	使用方法
なたね (Crop Group 20-A*)	73~125 g ai/ha	73~125 g ai/ha	収穫30日前 まで	1回	茎葉散布

\*: ごまの種子、けしの種子、からし菜の種子、メドウフォーム、レスクエラの種子、あまに、ハマナ、ルリジサ等が含まれる。

⑦13%ジフェノコナゾール乳剤（韓国）

作物名	1回当たりの 使用量	総使用量	使用時期	使用 間隔	使用方法
米	13g ai/ha	52g ai/ha	収穫 21 日 前まで	7 日	紋枯病：幼穂 形成期に散布 こうじ病：出 穂 7 日前まで 散布

⑧5%ジフェノコナゾール水和剤（韓国）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
とうがらし	炭疽病	1000 倍	200L/10a	収穫 2 日前まで	3 回以内	散布

⑨10%ジフェノコナゾールフロアブル（韓国）

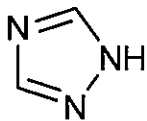
作物名	適用病害虫名	希釈倍数	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
とうがらし	炭疽病	2000 倍	250L/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布

3. 作物残留試験

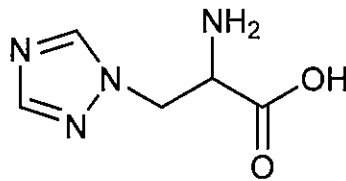
(1) 分析の概要

①分析対象の化合物

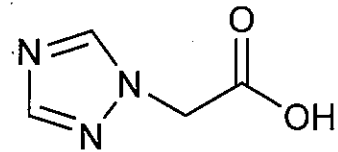
- ・ジフェノコナゾール
- ・1*H*-1, 2, 4-トリアゾール（以下、代謝物 J という）
- ・1*H*-1, 2, 4-トリアゾールアラニン（以下、代謝物 K という）
- ・1*H*-1, 2, 4-トリアゾール酢酸（以下、代謝物 L という）



代謝物 J



代謝物 K



代謝物 L

②分析法の概要

i) ジフェノコナゾール

試料からアセトン又はメタノール・アンモニア水（4：1）混液で抽出し、ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム又はシリカゲルカラムを用いて精製した後、ガスクロマトグラフ（NPD）で定量する。

または、試料からアセトンで抽出後、C<sub>18</sub> カラムで精製し、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) を用いて定量する。

定量限界: 0.005~0.1 ppm

#### ii) 代謝物 J、代謝物 K 及び代謝物 L

試料からメタノール・水(4:1)混液で抽出する。代謝物 J についてはダンシルクロライドを用いて誘導体化し、酢酸エチルに転溶する。代謝物 K についてはオクチルシリル化シリカゲル (C<sub>8</sub>)・トリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル (SAX) 混合カラムで精製した後、カルボキシル基を HCl/ブタノールを用いてエステル化し、次いでアミノ基を無水ヘプタフルオロ酪酸 (HFBA) を用いてアシル化する。代謝物 L については C<sub>18</sub> カラムで精製した後、HCl/ブタノールを用いてエステル化する。得られた各代謝物の誘導体について、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) を用いて定量する。

定量限界: 0.01 ppm

#### (2) 作物残留試験結果

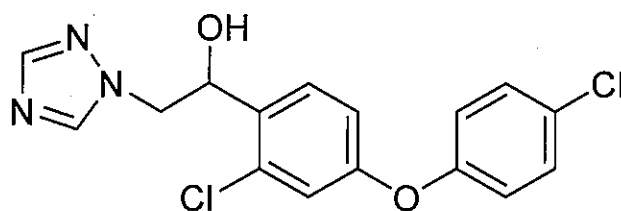
国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2~1-6 を参照。

#### 4. 畜産物への推定残留量

##### (1) 分析の概要

##### ① 分析対象の化合物

- ・ジフェノコナゾール
- ・1-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-2-(1H-1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)エタノール (以下、代謝物 D という)
- ・代謝物 J



代謝物D



## ②分析法の概要

試料からメタノール又はアセトニトリルで抽出し、ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラムで精製した後、LC-MS/MS 又はガスクロマトグラフ (NPD 又は ECD) で定量する。

定量限界：0.005～0.01 ppm

## (2) 家畜残留試験

### ①乳牛における残留試験

乳牛に対して、ジフェノコナゾールが飼料中濃度として1、3、10 ppmに相当する量を含むゼラチンカプセルを29-30日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるジフェノコナゾール及び代謝物D含量を測定した。乳については0、2、5、8、12、15、19、22及び28日後に搾乳し、さらに29及び30日後に屠殺した後、ジフェノコナゾール及び代謝物D含量を測定した（定量限界 筋肉、脂肪、肝臓、腎臓：0.01 ppm、乳：0.005 ppm）。結果を表1に示す。

表 1. 乳牛の組織中の最大残留量 (ppm)

		1 ppm 投与群	3 ppm 投与群	10 ppm 投与群
筋肉	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	<0.01
	代謝物D	<0.01	0.022	0.028
脂肪	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	<0.01
	代謝物D	0.013	0.033	0.095
肝臓	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	0.02
	代謝物D	0.044	0.13	0.35
腎臓	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	<0.01
	代謝物D	<0.01	0.018	0.052
乳 (平均)	ジフェノコナゾール	<0.005	<0.005	<0.005
	代謝物D	<0.005	<0.005	0.007

### ②乳牛における残留試験

乳牛に対して、ジフェノコナゾールが飼料中濃度として1、5、15 ppmに相当する量を含むゼラチンカプセルを29-30日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるジフェノコナゾール、代謝物Dおよび代謝物J含量を測定した。乳については0、2、5、8、12、15、19、22、26及び28日後に搾乳し、さらに29及び30日後に屠殺した後、ジフェノコナゾール、代謝物Dおよび代謝物J含量を測定した（定量限界 筋肉、脂肪、肝臓、腎臓：0.01 ppm、乳：0.005～0.01 ppm）。結果を表2に示す。

表2. 乳牛の組織中の最大残留量 (ppm)

		1 ppm 投与群	5 ppm 投与群	15 ppm 投与群
筋肉	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	<0.01
	代謝物 D	<0.01	0.01	0.05
	代謝物 J	<0.01	0.02	0.04
脂肪	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	<0.01
	代謝物 D	0.02	0.05	0.14
	代謝物 J	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	ジフェノコナゾール	<0.01	0.02	0.03
	代謝物 D	0.07	0.23	0.66
	代謝物 J	<0.01	0.01	0.03
腎臓	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	<0.01
	代謝物 D	0.01	0.04	0.12
	代謝物 J	<0.01	0.02	0.05
乳 (平均)	ジフェノコナゾール	<0.005	<0.005	<0.005
	代謝物 D	<0.005	0.006	0.014
	代謝物 J	<0.01	0.02	0.04

上記の結果に関連して、JMPRでは乳牛及び肉牛におけるMTDB<sup>註)</sup>はそれぞれ14.91 ppm及び17.88 ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考 : Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

### ③産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してジフェノコナゾールが0、1、3及び10 ppm含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるジフェノコナゾール、代謝物D及び代謝物J含量を測定した。

また、鶏卵については、投与開始後、1、3、6、9、13、16、20、23及び28日目に採卵したものを測定した(定量限界 0.005~0.01 ppm)。結果については表3を参照。

表 3. 鶏の組織中の最大残留量 (ppm)

		1 ppm 投与群	3 ppm 投与群	10 ppm 投与群
筋肉	ジフェノコナゾール	—	<0.01	<0.01
	代謝物 D	—	<0.01	<0.01
	代謝物 J	<0.005	0.008	0.023
脂肪	ジフェノコナゾール	—	<0.01	<0.01
	代謝物 D	—	<0.01	<0.01
	代謝物 J	<0.005	0.005	0.014
肝臓	ジフェノコナゾール	—	<0.01	<0.01
	代謝物 D	—	<0.01	<0.01
	代謝物 J	<0.01	0.01	0.02
卵	ジフェノコナゾール	<0.01	<0.01	<0.01
	代謝物 D	0.01	0.04	0.17
	代謝物 J	0.008	0.021	0.066

上記の結果に関連して、JMPR では産卵鶏における MTDB は 1.89 ppm と評価している。

### (3) 推定残留量

牛及び鶏について、MTDB と各試験における投与量から、畜産物中の推定残留量（最大値）を算出した。結果についてはジフェノコナゾール及び代謝物 D の合計量で示した。表 4-1 及び 4-2 を参照。

表 4-1. 畜産物の推定残留量；牛 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
肉牛	0.071	0.19	0.95	0.17	—
乳牛	—	—	—	—	0.013

表 4-2. 畜産物の推定残留量；鶏 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
産卵鶏	0.01	0.01	0.01	0.026

## 5. ADIおよびARfDの評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号及び第 2 項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたジフェノコナゾールに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

### (1) ADI

無毒性量：0.96 mg/kg体重/day  
 (動物種) ラット

(投与方法)	混餌
(試験の種類)	慢性毒性/発がん性併合試験
(期間)	2年間

安全係数：100

ADI：0.0096 mg/kg 体重/day

マウス 18 か月発がん試験において肝細胞腺腫及び肝細胞癌が認められたが、これらの腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

なお、評価に供された遺伝毒性試験の *in vitro* 試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め *in vivo* 試験では陰性の結果が得られたので、ジフェノコナゾールは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

## (2) ARfD

無毒性量：25 mg/kg 体重

(動物種) ラット

(投与方法) 単回強制経口

(試験の種類) 急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.25 mg/kg 体重

## 6. 諸外国における状況

2007年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIおよびARfDが設定されている。国際基準はバナナ、ぶどう等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてバナナ、大麦等に、カナダにおいてバナナ、りんご等に、EUにおいてぶどう、いちご等に、豪州においてアボカド、にんじん等に、ニュージーランドにおいてキャベツ、ブロッコリー等に基準値が設定されている。

## 7. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

農産物にあつてはジフェノコナゾールのみとし、畜産物にあつてはジフェノコナゾール及び代謝物 D とする。

農産物については、作物残留試験において代謝物 J、代謝物 K 及び代謝物 L の分析が行われているが、いずれも一部の試験を除いて親化合物より残留量が低いこと、ジフェノコナゾールに特異的な代謝物ではないことから、代謝物 J、代謝物 K 及び代謝物 L は残留の規制対象には含めないこととする。また、代謝物 D についても植物体内運命試験の結果から主要な代謝物として検出されていないため、規制対象には含めない

いこととする。

畜産物については、ジフェノコナゾール及び残留試験において主要な残留物である代謝物Dを規制対象とする。また、残留試験において代謝物Jの残留も認められるが、代謝物Jはジフェノコナゾールに特異的な代謝物ではないこと、親化合物に比べて毒性が低いこと、国際基準はジフェノコナゾール及び代謝物Dとしていることを踏まえ、代謝物Jを規制対象に含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物中の暴露評価対象物質としてジフェノコナゾール、畜産物中の暴露評価対象物質としてジフェノコナゾール及び代謝物Dを設定している。

## (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

## (3) 暴露評価

### ① 長期暴露評価

個別の作物残留試験成績等がある食品については推定される平均的な量まで、それ以外の食品については基準値案の上限の量までジフェノコナゾールが残留していると仮定し、国民栄養調査結果における各食品の平均摂取量に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
一般 (1歳以上)	24.1
幼小児 (1~6歳)	47.5
妊婦	21.1
高齢者 (65歳以上)	26.7

注) 各食品の平均摂取量は、平成17年~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

個別の作物残留試験成績等がある食品についてはEDI試算、それ以外の食品についてはTMDI試算を行った。

TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI試算法：作物残留試験成績から推定される残留量×各食品の平均摂取量

### ② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を推定したところ、一般 (1歳以上) 及び幼小児 (1~6歳) における摂取量は急性参照用量 (ARfD) を超えていない<sup>注)</sup>。詳細な暴露評

価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究所の研究結果に基づきESTIを推定した。

ジフェノコナゾール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			経過日数	最大残留量 <sup>註1)</sup> (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
てんさい (根菜)	2	25%乳剤	2000倍散布 100L/10a	3	21, 29, 45	圃場A : 0.02 (3回, 45日)
					21, 29, 44	圃場B : 0.02 (3回, 29日)
	2	25%乳剤	2000倍散布 100L/10a	3	21, 29, 44	圃場A : 0.06 (3回, 29日)
					21, 28, 35	圃場B : 0.02 (3回, 21日)
	2	25%乳剤	500倍散布 25L/10a	3	14, 21, 28	圃場A : <0.01 (3回, 21日) (#) <sup>註2)</sup>
					14, 21, 28	圃場B : 0.01 (3回, 21日) (#)
	2	10.5%水和剤	1000倍散布 150L/10a	3	14, 21, 28	圃場A : <0.05 (3回, 21日) (#)
14, 21, 28					圃場B : <0.05 (3回, 21日) (#)	
2	25%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.06 (#)	
				3, 7, 14	圃場B : 0.09 (#)	
2	25%乳剤	750倍散布 25L/10a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.02	
				3, 7, 14	圃場B : 0.02 (3回, 14日)	
てんさい (葉菜)	2	25%乳剤	2000倍散布 100L/10a	3	21, 29, 45	圃場A : 0.08 (3回, 29日)
					21, 29, 44	圃場B : 0.38 (3回, 21日)
	2	25%乳剤	2000倍散布 100L/10a	3	21, 29, 44	圃場A : 0.42 (3回, 29日)
					21, 28, 35	圃場B : 0.16 (3回, 21日)
2	25%乳剤	2000倍散布 100L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.01 (#)	
2	25%乳剤	500倍散布 159, 188L/10a	3	1, 7, 14	圃場B : <0.01	
キャベツ (葉菜)	2	2.5% 顆粒水溶剤	500倍散布 200~300L/10a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.04 (3回, 14日) (#)
セルリー (葉菜)	2	10% 顆粒水溶剤	2000倍散布 300L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 3.46
						圃場B : 1.74
トマト (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 200~300L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.12
					1, 7, 14	圃場B : 0.09 (3回, 7日)
	2	2.5% 顆粒水溶剤	500倍散布 300L/10a	3	1, 7, 14, 21	圃場A : 0.17 (3回, 1日) (#)
					1, 7, 14, 21	圃場B : 0.12 (3回, 1日) (#)
ピーマン (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 200L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.32
						圃場B : 0.53
なす (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 130~200L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.06 (#)
						圃場B : 0.11 (#)
きゅうり (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 200~250L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.07
					1, 3, 7	圃場B : 0.06
	2	2.5% 顆粒水溶剤	500倍散布 300~350L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.05 (3回, 1日) (#)
					1, 3, 7	圃場B : 0.06 (3回, 1日) (#)
かぼちや (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 300L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.07
						圃場B : 0.09
すいか (果実)	2	10% 水和剤	2000倍散布 300L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01
						圃場B : 0.02 (3回, 7日)
メロン (果実)	2	10% 水和剤	2000倍散布 300~412L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 (3回, 1日) (#)
						圃場B : <0.01 (3回, 1日) (#)
りんご (果実)	2	10% 水和剤	2000倍散布 500~600L/10a	3	14, 21, 31, 45	圃場A : 0.23
					14, 21, 30, 45	圃場B : 0.26
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500L/10a	2	21, 30, 45, 60	圃場A : 0.10 (2回, 21日)
					21, 30, 45, 60	圃場B : 0.10 (2回, 21日)
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500L/10a	3	21, 30, 45, 60	圃場A : 0.18 (3回, 21日)
					21, 30, 45, 60	圃場B : 0.12 (3回, 21日)
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500L/10a	2	45, 60	圃場A : 0.02 (2回, 45日)
					45, 59	圃場B : 0.02 (2回, 45日)
2	10% 水和剤	2000倍散布 500~600L/10a	2	45, 60	圃場A : 0.05 (2回, 60日)	
				45, 60	圃場B : 0.04 (2回, 45日)	
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500~600L/10a	3	28, 43	圃場A : 0.16 (3回, 28日)
					31, 46	圃場B : 0.14 (3回, 46日)
日本なし (果実)	2	10% 水和剤	2000倍散布 500L/10a	3	14, 31, 45	圃場A : 0.04
					14, 30, 45	圃場B : 0.16
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500L/10a	2	21, 30, 45, 60	圃場A : <0.01 (2回, 45日)
					21, 30, 45, 60	圃場B : 0.14 (2回, 21日)
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500L/10a	3	21, 30, 45	圃場A : 0.04 (3回, 21日)
					21, 30, 45	圃場B : 0.14 (3回, 30日)
マルメロ (果実)	2	10% 水和剤	2000倍散布 圃場A : 500L/10a, 圃場B : 8L/樹	3	30, 45	圃場A : 0.06 (3回, 30日)
						圃場B : 0.24 (3回, 30日)
マルメロ (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 450~700L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.22
						圃場B : 0.17
もも (果肉)	2	10% 水和剤	2000倍散布 350~400L/10a	3	14, 21, 30, 45	圃場A : <0.01 (3回, 14日)
					14, 21, 30, 45	圃場B : 0.01 (3回, 14日)
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500~700L/10a	3	1, 3, 4, 7	圃場A : 0.04 (3回, 4日)
					1, 3, 4, 7	圃場B : 0.04
もも (果皮)	2	10% 水和剤	2000倍散布 350~400L/10a	3	14, 21, 30, 45	圃場A : 0.16 (3回, 14日)
					14, 21, 30, 45	圃場B : 1.98 (3回, 14日)
	2	10% 水和剤	2000倍散布 500~700L/10a	3	1, 3, 4, 7	圃場A : 2.81
					1, 3, 4, 7	圃場B : 2.68

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ネクタリン (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 400L/10a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.2 圃場B : 0.3
あんず (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 400~500L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.4 圃場B : 0.5
すもも (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 300~500L/10a	2	1, 7, 14	圃場A : <0.1 圃場B : 0.1
うめ (果実)	2	10% 水和剤	3000倍散布 400~500L/10a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.16 圃場B : 0.24
	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 300~400L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : 1.16 圃場B : 0.42
おうとう (果実)	2	10% 水和剤	2000倍散布 500~700L/10a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.72 圃場B : 0.34
	2	10% 水和剤	2000倍散布 700L/10a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.32 圃場B : 0.30
いちご (果実)	2	10% 顆粒水和剤	2000倍散布 200~256L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.6 圃場B : 0.6
	2	2.5% 顆粒水溶剤	500倍散布 200L/10a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.6(3回, 1日) (#) 圃場B : 0.5(3回, 1日) (#)
かき (果実)	2	10% 水和剤	3000倍散布 700L/10a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.19 圃場B : 0.24(3回, 7日)
茶 (荒茶)	2	10%顆粒水和剤	2000倍散布 200L/10a	1	7, 14, 21	圃場A : 4.69(1回, 14日) 圃場B : 6.80(1回, 7日)
				2		圃場A : 7.87 圃場B : 5.31
茶 (浸出液)	2	10%顆粒水和剤	2000倍散布 200L/10a	1	7, 14, 21	圃場A : 0.45(1回, 14日) 圃場B : 0.60(1回, 7日)
				2		圃場A : 0.79 圃場B : 0.54

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）  
表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。



## ジフェノコナゾール海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【ジフェノコナゾール/代謝物J/代謝物K/代謝物L】
キャベツ (葉球) 外葉あり	12	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	1, 7	圃場A: 0.06/<0.01/1.5/0.0120
						圃場B: 0.11/<0.01/0.79/0.0120
						圃場C: 0.90/<0.01/0.09/<0.01
						圃場D: 0.97/<0.01/0.08/<0.01
						圃場E: 0.96/<0.01/0.06/<0.01
						圃場F: 1.60/<0.01/0.09/<0.01
						圃場G: 0.28/<0.01 /0.04/<0.01
						圃場H: 0.32/<0.01/0.04/<0.01
						圃場I: *0.38/<0.01/0.04/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場J: *0.29/<0.01/0.04/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場K: *0.16/<0.01/0.07/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場L: 0.82/<0.01/0.06/<0.01
キャベツ (葉球) 外葉なし	6	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	1, 7	圃場A: <0.01/<0.01 /1.2/0.0124
						圃場B: <0.01/<0.01/0.97/0.0120
						圃場C: *<0.01/<0.01/0.13/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場D: *<0.01/<0.01/0.17/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場E: 0.06/<0.01/0.07/<0.01
						圃場F: 0.11/<0.01/0.10/<0.01
						圃場G: <0.01/<0.01/0.05/<0.01
						圃場H: 0.01/<0.01/0.04/<0.01
						圃場I: 0.12/<0.01/0.05/<0.01
						圃場J: *0.15/<0.01/0.05/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場K: 0.05/<0.01/0.07/<0.01
						圃場L: 0.03/<0.01/0.05/<0.01
ブロッコリー (花蕾)	6	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	1, 7	圃場A: 0.44/<0.01 /0.02/<0.01
						圃場B: *0.28/<0.01/0.03/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場C: 0.45/<0.01/0.21/<0.01
						圃場D: 0.61/<0.01/0.24/<0.01
						圃場E: 0.33/<0.01/0.18/<0.01
						圃場F: 0.31/<0.01/0.10/<0.01
						圃場G: 0.18/ <0.01 /0.05/<0.01
						圃場H: 0.12/<0.01/0.04/<0.01
						圃場I: 0.34/<0.01/0.13/<0.01
						圃場J: 0.39/<0.01/0.11/<0.01
						圃場K: 0.38/<0.01/0.04/<0.01
						圃場L: 0.26/<0.01/0.03/<0.01
からしな	5	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	1, 7	圃場A: *7.7/<0.01 /0.05/0.02 (*4回, 7日)
						圃場B: 3.2/<0.01/*0.04/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場C: 6.0/<0.01/*0.1/0.021 (*4回, 7日)
						圃場D: 5.0/<0.01/*0.02/<0.01 (*4回, 7日)
						圃場E: 14/<0.01/0.02/0.01
たまねぎ (鱗茎)	8	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: 0.46 lbs ai/A)	4	1, 7, 9	圃場A: *<0.01/<0.01/0.58/<0.01 (*4回, 9日)
						圃場B: <0.01/<0.01/0.09/<0.01
						圃場C: 0.04/<0.01/0.02/<0.01
						圃場D: 0.02/<0.01/0.02/<0.01
						圃場E: 0.09/<0.01/0.04/<0.01
						圃場F: <0.01/<0.01/0.04/<0.01
						圃場G: <0.01/<0.01/0.01/<0.01
						圃場H: 0.01/<0.01/0.10/<0.01
ねぎ	3	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布3回 (総使用量: 0.345 lbs ai/A)	3	1, 7, 9	圃場A: 2.5/<0.01/0.02/<0.01
						圃場B: 2.9/<0.01/0.01/<0.01
						圃場C: 4.8/<0.01/0.06/<0.01

## ジフェノコナゾール海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【ジフェノコナゾール/代謝物J/代謝物K/代謝物L】		
トマト	11	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	0, 7	圃場A: 0.01/<0.01/0.21/<0.01		
						圃場B: 0.26/<0.01/0.03/<0.01		
						圃場C: 0.12/<0.01/0.02/<0.01		
						圃場D: 0.19/<0.01/0.05/<0.01		
						圃場E: 0.15/<0.01/<0.01/<0.01		
						圃場F: *0.48, <0.01/0.02/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場G: 0.17/<0.01/<0.01/<0.01		
						圃場H: *0.30/<0.01/0.02/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場I: 0.10/<0.01/0.01/<0.01		
						圃場J: 0.40/<0.01/0.01/<0.01		
					0, 1, 4, 7, 9	圃場K: 0.17/<0.01/<0.01/<0.01		
			~0.575 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~2.3 lbs ai/A)	4	0, 7	圃場G: 0.59/<0.01/0.02/<0.01 (#) 注2)		
						圃場J: 1.5/<0.01/0.04/<0.01 (#)		
ピーマン	6	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	0, 7	圃場A: 0.06/<0.01/*0.10/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場B: *0.16/<0.01/0.03/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場C: 0.16/<0.01/*0.05/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場D: 0.17/<0.01/0.05 (4回, 7日) /<0.01		
					0, 1, 4, 7, 9	圃場E: *0.09/<0.01/ **0.03/<0.01 (*4回, 7日) (**4回, 9日)		
					0, 7	圃場F: 0.15/<0.01/0.01/<0.01		
とうがらし	3	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	0, 7	圃場A: 0.29/<0.01/*0.09/0.01 (*4回, 7日)		
						圃場B: 0.11/<0.01/*0.02/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場C: 0.20/<0.01/0.01/<0.01		
きゅうり (果実)	6	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	0, 7	圃場A1: 0.03/<0.01/*0.14/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場A2: 0.04/<0.01/*0.15/<0.01 (*4回, 7日)		
							0, 1, 3, 5, 7, 9	圃場B1: 0.20/<0.01/*0.24/ **0.03 (*4回, 5日) (**4回, 7日)
					圃場B2: *0.10/<0.01/0.27/0.03 (*4回, 9日)			
							0, 7	圃場C1: <0.01/<0.01/0.19/<0.01
					圃場C2: <0.01/<0.01/0.14/<0.01			
					圃場D1: 0.06/<0.01/*0.04/<0.01 (*4回, 7日)			
					圃場D2: 0.02/<0.01/*0.05/<0.01 (*4回, 7日)			
					圃場E1: 0.04/<0.01/*0.07/<0.01 (*4回, 7日)			
					圃場E2: <0.01/<0.01/*0.07/<0.01 (*4回, 7日)			
圃場F1: 0.01/<0.01/*0.08/<0.01 (*4回, 7日)								
圃場F2: <0.01/<0.01/0.07/<0.01								
サマースカッシュ (果実)	5	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	0, 7	圃場A1: <0.01/<0.01/0.22/<0.01		
						圃場A2: <0.01/<0.01/0.25/<0.01		
						圃場B1: 0.06/<0.01/0.11/<0.01		
						圃場B2: 0.06/<0.01/0.10/<0.01		
						圃場C1: 0.02/<0.01/0.04/<0.01		
						圃場C2: *<0.01/<0.01/0.07/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場D1: 0.06/<0.01/0.02/<0.01		
圃場D2: 0.05/<0.01/0.02/<0.01								
		0, 1, 3, 5, 7, 9	圃場E1: *0.01/<0.01/0.11/0.02 (*4回, 1日)					
		0, 7	圃場E2: 0.03/<0.01/0.06/0.01					
カンタロープ (果実)	3	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: ~0.46 lbs ai/A)	4	5, 7, 9	圃場A1: *0.02/<0.01 / *0.05/<0.01 (*4回, 7日)		
						圃場A2: 0.03/<0.01/*0.05/<0.01 (*4回, 9日)		
						0, 7	圃場B1: 0.44/<0.01/*0.09/<0.01 (*4回, 7日)	
					圃場B2: 0.26/<0.01/0.09/<0.01			
			圃場C1: *0.13/<0.01/ *0.06/<0.01 (*4回, 7日)					
			圃場C2: *0.14/<0.01/ *0.08/<0.01 (*4回, 7日)					

## ジフェノコナゾール海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【ジフェノコナゾール/代謝物J/代謝物K/代謝物L】	
レモン	5	23.2% 乳剤	~0.125 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: 0.50 lbs ai/A)	4	0	圃場A: 0.24/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場B: 0.19/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場C: 0.24/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場D: 0.09/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場E: 0.20/<0.01/<0.01/<0.01	
オレンジ	12	23.2% 乳剤	~0.125 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: 0.50 lbs ai/A)	4	0	圃場A: 0.17/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場B: 0.17/<0.01/<0.02/<0.01	
						圃場C: 0.16/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場D: 0.17/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場E: 0.28/<0.01/<0.01/<0.01	
			圃場F: 0.23/<0.01/<0.01/<0.01				
			0.625 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: 2.5 lbs ai/A)	4	0	圃場G: 0.15/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場H: 0.65/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場I: 0.13/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場J: 0.13/<0.01/<0.01/<0.01	
圃場K: *0.37/<0.01/<0.01/<0.01 (*4回, 3日)							
圃場L: 0.46/<0.01/<0.01/<0.01							
グレープフルーツ	6	23.2% 乳剤	~0.125 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: 0.50 lbs ai/A)	4	0	圃場A: 0.08/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場B: 0.24/<0.01/<0.03/<0.01	
						圃場C: 0.20/<0.01/<0.03/<0.01	
						圃場D: 0.14/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場E: 0.10/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場F: 0.13/<0.01/<0.01/<0.01	
ぶどう	12	23.2% 乳剤	~0.115 lbs ai/A 茎葉散布4回 (総使用量: 0.46 lbs ai/A)	4	I	圃場A: 1.2/<0.01/0.04/0.02	
						圃場B: 0.43/<0.01/0.04/0.02	
						圃場C: 0.12/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場D: 0.40/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場E: 0.65/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場F: 0.26/<0.01/0.02/<0.01	
						圃場G: 1.72/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場H: 1.8/<0.01/0.02/0.02	
						I	圃場I: 0.29/<0.01/<0.01/<0.01
							圃場J: 0.23/<0.01/<0.01/<0.01
I	圃場K: 0.83/<0.01/<0.01/<0.01						
	圃場L: 0.82/<0.01/<0.01/<0.01						

注1) 最大残留量: 当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考: 平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」)

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

注2) (#): これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

## ジフェノコナゾール海外作物残留試験一覧表(豪州)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アボカド	1	25% 乳剤	100g ai/ha 茎葉散布	6	0, 1, 3, 7, 14	圃場A1 : 0.24 (6回, 14日)	
							圃場A2 : 0.26 (6回, 14日)
		200g ai/ha 茎葉散布	6	0, 1, 3, 7, 14	圃場A1 : 0.64 (6回, 1日) (#) 注2)		
					圃場A2 : 0.66 (6回, 1日) (#)		

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

## ジフェノコナゾール海外作物残留試験一覧表(EU)

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) <sup>注1)</sup>	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【ジフェノコナゾール/代謝物J/代謝物K/代謝物L】
パセリ	4	23.9% 乳剤	125g ai/ha 茎葉散布  (総使用量: 375g ai/ha)	3	0, 7, 14, 21, 28	圃場A: 5.68/-/-/-(#) <sup>注2)</sup>
						圃場B: 5.63/-/-/-(#)
					14	圃場C: 3.67/-/-/-(#)
						圃場D: 1.17/-/-/-(#)
にんじん	16	25% 乳剤	125g ai/ha 茎葉散布  (総使用量: 375g ai/ha)	3	14	圃場A: 0.12/-/-/-
					0, 3, 7, 10, 14	圃場B: 0.04/-/-/-
					14	圃場C: 0.09/-/-/-
					0, 3, 7, 10, 14	圃場E: 0.28/-/-/-
					14	圃場F: 0.08/-/-/-
					0, 3, 7, 10, 14	圃場G: 0.13/-/-/-
					圃場H: 0.06/-/-/-	
					14	圃場I: <0.02/-/-/-
						圃場J: 0.02/-/-/-
						圃場K: 0.02/-/-/-
						圃場L: 0.15/-/-/-
					圃場M: 0.03/-/-/-	
0, 3, 7, 10, 15	圃場N: 0.02/-/-/-(3回, 15日)					
0, 3, 7, 10, 14	圃場O: 0.15/-/-/-					
圃場P: 0.10/-/-/-						
チコリ (ウイット ルーフ) 【シコン (Chicon)】	4	25% EC剤	圃場 125 g ai/ha 茎葉散布  促成栽培 156 mg ai/m <sup>2</sup> 散布	圃場 2  促成栽培 1	21	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01(#)
						圃場B: 0.04/<0.01/<0.01/<0.01(#)
						圃場C: <0.01/<0.01/0.02/<0.01(#)
						圃場D: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01(#)
チコリ (ウイット ルーフ) 【根部】	4	25% EC剤	125 g ai/ha 茎葉散布	2	14	圃場A: 0.09/<0.01/<0.01/<0.01(#)
						圃場B: 0.20/<0.01/<0.01/<0.01(#)
					14, 21	圃場C: 0.32/<0.01/0.03/<0.01(#)
						圃場D: *0.20/<0.01/0.01/<0.01(2回, 21日) (#)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

## ジフェノコナゾール海外作物残留試験一覧表(韓国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) <sup>注1)</sup>
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稲 (玄米)	1	13% 乳剤	13g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 26g ai/ha)	2	45	圃場A: 0.02
			13g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 39g ai/ha)	3	30	圃場A: 0.04
			13g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 52g ai/ha)	4	14, <u>21</u>	圃場A: 0.05
とうがらし	1	5% 水和剤	100g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 100g ai/ha)	1	0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 0.25(1回, 3日)
			100g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 200g ai/ha)	2	0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 0.45(2回, 3日)
			100g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 300g ai/ha)	3	0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 0.57(3回, 3日)
	1	10% フロアブル	125g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 250g ai/ha)	2	1, 3, 5, <u>7</u>	圃場A: 0.17
			125g ai/ha 茎葉散布 (総使用量: 375g ai/ha)	3	1, 3, 5, <u>7</u>	圃場A: 0.29(3回, 7日) (#) <sup>注2)</sup>

注1) 最大残留量: 当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考:平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」)

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について( )内に記載した。

注2) (#): これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

## ジフェノコナゾール海外作物残留試験一覧表(カナダ)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なたね (種子)	13	25% 乳剤	~125 g ai/ha 茎葉散布	1	29	圃場A : 0.017
					30	圃場B : 0.081
					30	圃場C : 0.070
					29	圃場D : 0.023
					30	圃場E : 0.042
					30	圃場F : 0.036
					31	圃場G : 0.044
					35	圃場H : <0.01
					31	圃場I : 0.019
					32	圃場J : 0.040
					25, 30, 35, 40	圃場K : 0.012
					31	圃場L : 0.011
					31	圃場M : 0.037

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.2	0.2			0.2; 韓国	【0.02,0.04,0.05(韓国)】
小麦	0.1	0.1		0.02		
大麦	0.1	0.1				
ライ麦	0.1	0.1				
とうもろこし	0.1	0.1				
そば	0.02	0.02				
大豆	0.05	0.05	○	0.02		0.01,<0.01
らっかせい	0.1	0.1				
ばれいしょ	0.1	0.1				
てんさい	0.3	0.5	○	0.2		0.06, 0.09
西洋わさび	0.4		IT		0.4; EU	【EUにんじん(0.02-0.28(n=16))参照】
キャベツ	2	2	○	2		
芽キャベツ	2	2		2		
カリフラワー	2	2		2		
ブロッコリー	2	2		2		
その他のあぶらな科野菜	2	2		2		
サルシフィー	0.4		IT		0.4; EU	【EUにんじん参照】
チコリ	0.08		IT		0.08; EU	【<0.01-0.04(ウイトルーフ)(#)(n=4)(EU)】
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	2	2		2		
その他のきく科野菜	0.6		IT		0.6; EU	【0.09-0.32(チコリの根)(#)(n=4)(EU)】
たまねぎ	0.2	0.2		0.1	0.2; 米国	【<0.01-0.09(n=8)(米国)】
ねぎ(リーキを含む。)	6	6		0.3	6; 米国	【2.5-4.8(n=3)(米国)】
にんにく	0.2	0.2		0.02	0.2; 米国	【米国たまねぎ参照】
アスパラガス	0.03	0.03		0.03		
その他のゆり科野菜	9			9		
にんじん	0.2	0.2		0.2		
パセリ	10	10			10; EU	【1.17-5.68 (n=4)(EU)】
セロリ	10	10	○	3		3.46(\$),1.74
その他のせり科野菜	0.5	0.5		0.5		
トマト	0.6	0.6	○	0.6		
ピーマン	2	2	○	0.6		0.32,0.53(\$)
なす	0.6	0.6	○	0.6		
その他のなす科野菜	1		IT	0.6	1; 韓国	【0.25,0.45,0.57(韓国)】
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.7	○	0.2	0.7; 米国	0.07,0.06 【<0.01-0.20(n=12)(米国)】
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.7	0.7	○	0.2	0.7; 米国	【<0.01-0.06(サマースカッシュ)(n=10)(米国)】
すいか	0.1	0.1	○			<0.01,0.02
メロン類果実	0.05	0.05	○			<0.01(#),<0.01(#)
オクラ	0.6			0.6		
未成熟えんどう	0.7	0.7		0.7		
未成熟いんげん	0.7	0.7		0.7		
しいたけ	0.6			0.6		
その他のきのこ類	0.6			0.6		
その他の野菜	0.7	0.7				
なつみかんの果実全体	0.6			0.6		
レモン	0.6	0.6		0.6		
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.6	0.6		0.6		
グレープフルーツ	0.6	0.6		0.6		
ライム	0.6	0.6		0.6		



食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
その他のかんきつ類果実	0.6	0.6		0.6			
りんご	0.8	1	○	0.8			
日本なし	0.8	1	○	0.8			
西洋なし	0.8	1	○	0.8			
マルメロ	0.8	0.5	○	0.8			
びわ	0.5	0.5					
もも	0.2	1	○			0.04,0.04	
ネクタリン	0.7	0.7	○	0.5		0.2,0.3	
あんず(アプリコットを含む。)	1	1	○			0.4,0.5	
すもも(プルーンを含む。)	0.3	0.3	○			<0.1,0.1	
うめ	3	3	○			1.16(\$),0.42	
おうとう(チェリーを含む。)	3	3	○	0.2		1.32(\$),0.30	
いちご	2	2	○			0.6,0.6	
ぶどう	4	4		3	4	米国	【0.12-1.8(n=12)(米国)】
かき	0.7	0.7	○				0.19,0.24
バナナ	0.1	0.5		0.1			
パパイヤ	0.2	0.2		0.2			
アボカド	0.5	0.5			0.5	豪州	【0.24,0.26(n=2)(豪州)】
マンゴー	0.07	0.07		0.07			
パッションフルーツ	0.05	0.05		0.05			
その他の果実	2	2		2			
ひまわりの種子	0.02	0.02		0.02			
ごまの種子	0.1		IT		0.1	カナダ	【カナダなたね参照】
なたね	0.1	0.05	IT	0.05	0.1	カナダ	【<0.01-0.081(n=13)(カナダ)】
その他のオイルシード	0.1		IT		0.1	カナダ	【カナダなたね参照】
ぎんなん	0.03	0.03		0.03			
くり	0.03	0.03		0.03			
ペカン	0.03	0.03		0.03			
アーモンド	0.03	0.03		0.03			
くるみ	0.03	0.03		0.03			
その他のナッツ類	0.03	0.03		0.03			
茶	15	15	○				7.87,5.31(荒茶)/0.79,0.54(浸出液)
その他のスパイス	0.6	0.6			0.6	米国	
その他のハーブ	35	35		0.6	35	米国	【3.2-12(からしな)(n=5)(米国)】
牛の筋肉	0.2	0.05		0.2			【牛の脂肪参照】
豚の筋肉	0.2	0.05		0.2			【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.05		0.2			【牛の脂肪参照】
牛の脂肪	0.2	0.05		0.2			【推:0.19】
豚の脂肪	0.2	0.05		0.2			【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2	0.05		0.2			【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	2	0.2		1.5			【推:0.95】
豚の肝臓	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】
豚の腎臓	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】
牛の食用部分	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】
豚の食用部分	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2	0.2		1.5			【牛の肝臓参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
乳	0.02	0.005		0.02		【推:0.013】
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01		【鶏の筋肉参照】
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01		0.01		【鶏の脂肪参照】
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
その他の家きんの肝臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
その他の家きんの腎臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
その他の家きんの食用部分	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の卵	0.03	0.01		0.03		【推:0.026】
その他の家きんの卵	0.03	0.01		0.03		【鶏の卵参照】

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

ジフェノコナゾール推定摂取量 (単位:  $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$ )

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	一般 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.2	0.0367	32.8	6.0	17.1	3.1	21.1	3.9	36.0	6.6
小麦	0.1	● 0.1	6.0	6.0	4.4	4.4	6.9	6.9	5.0	5.0
大麦	0.1	● 0.1	0.5	0.5	0.4	0.4	0.9	0.9	0.4	0.4
ライ麦	0.1	● 0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
とうもろこし	0.1	● 0.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.4	0.4
そば	0.02	● 0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	0.05	● 0.05	2.0	2.0	1.0	1.0	1.6	1.6	2.3	2.3
らっかせい	0.1	● 0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
ばれいしょ	0.1	● 0.1	3.8	3.8	3.4	3.4	4.2	4.2	3.5	3.5
てんさい	0.3	0.075	9.8	2.4	8.3	2.1	12.3	3.1	10.0	2.5
西洋わさび	0.4	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
キャベツ	2	0.35	48.2	8.4	23.2	4.1	38.0	6.7	47.6	8.3
芽キャベツ	2	0.35	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
カリフラワー	2	0.35	1.0	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
ブロッコリー	2	0.35	10.4	1.8	6.6	1.2	11.0	1.9	11.4	2.0
その他のあぶらな科野菜	2	0.35	6.8	1.2	1.2	0.2	1.6	0.3	9.6	1.7
サルシフィー	0.4	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	0.08	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	2	0.41	19.2	3.9	8.8	1.8	22.8	4.7	18.4	3.8
その他のさく科野菜	0.6	0.02	0.9	0.3	0.1	0.0	0.4	0.1	1.6	0.5
たまねぎ	0.2	0.025	6.2	0.8	4.5	0.6	7.1	0.9	5.6	0.7
ねぎ (リーキを含む。)	6	2.9	56.4	27.3	22.2	10.7	40.8	19.7	64.2	31.0
にんにく	0.2	0.025	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0
アスパラガス	0.03	0.02	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
その他のゆり科野菜	9	2.8	5.4	1.7	0.9	0.3	1.8	0.6	10.8	3.4
にんじん	0.2	0.05	3.8	0.9	2.8	0.7	4.5	1.1	3.7	0.9
パセリ	10	4.038	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4	2.0	0.8
セロリ	10	2.6	12.0	3.1	6.0	1.6	3.0	0.8	12.0	3.1
その他のせり科野菜	0.5	0.12	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
トマト	0.6	0.14	19.3	4.5	11.4	2.7	19.2	4.5	22.0	5.1
ピーマン	2	0.425	9.6	2.0	4.4	0.9	15.2	3.2	9.8	2.1
なす	0.6	0.14	7.2	1.7	1.3	0.3	6.0	1.4	10.3	2.4
その他のなす科野菜	1	0.423	1.1	0.5	0.1	0.0	1.2	0.5	1.2	0.5
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.7	0.045	14.5	0.9	6.7	0.4	9.9	0.6	17.9	1.2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.7	0.032	6.5	0.3	2.6	0.1	5.5	0.3	9.1	0.4
ずいか	0.1	0.015	0.8	0.1	0.6	0.1	1.4	0.2	1.1	0.2
メロン類果実	0.05	0.01	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
オクラ	0.6	0.14	0.8	0.2	0.7	0.2	0.8	0.2	1.0	0.2
未成熟えんどう	0.7	0.07	1.1	0.1	0.4	0.0	0.1	0.0	1.7	0.2
未成熟いんげん	0.7	0.07	1.7	0.2	0.8	0.1	0.1	0.0	2.2	0.2
しいたけ	0.6	0.14	3.6	0.8	1.8	0.4	1.9	0.4	4.4	1.0
その他のきのこ類	0.6	0.14	6.1	1.4	2.8	0.7	6.3	1.5	6.8	1.6
その他の野菜	0.7	0.07	9.4	0.9	4.4	0.4	7.1	0.7	9.9	1.0
レモン	0.6	0.16	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.6	0.16	4.2	1.1	8.8	2.3	7.5	2.0	2.5	0.7
グレープフルーツ	0.6	0.16	2.5	0.7	1.4	0.4	5.3	1.4	2.1	0.6
ライム	0.6	0.16	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のかんきつ類果実	0.6	0.16	3.5	0.9	1.6	0.4	1.5	0.4	5.7	1.5
りんご	0.8	0.16	19.4	3.9	24.7	4.9	15.0	3.0	25.9	5.2
日本なし	0.8	0.16	5.1	1.0	2.7	0.5	7.3	1.5	6.2	1.2
西洋なし	0.8	0.16	0.5	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
マルメロ	0.8	0.16	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
びわ	0.5	● 0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	1.0	1.0	0.2	0.2
もも	0.2	0.04	0.7	0.1	0.7	0.1	1.1	0.2	0.9	0.2
ネクタリン	0.7	0.25	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
あんず (アブリコットを含む。)	1	0.45	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.2
すもも (プルーンを含む。)	0.3	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1
うめ	3	0.79	4.2	1.1	0.9	0.2	1.8	0.5	5.4	1.4
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.81	1.2	0.3	2.1	0.6	0.3	0.1	0.9	0.2
いちご	2	0.6	10.8	3.2	15.6	4.7	10.4	3.1	11.8	3.5
ぶどう	4	0.729	34.8	6.3	32.8	6.0	80.8	14.7	36.0	6.6
かき	0.7	0.215	6.9	2.1	1.2	0.4	2.7	0.8	12.7	3.9
バナナ	0.1	0.02	1.3	0.3	1.5	0.3	1.6	0.3	1.9	0.4
パパイヤ	0.2	0.01	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アボカド	0.5	0.25	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
マンゴー	0.07	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パッションフルーツ	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	2	0.465	2.4	0.6	0.8	0.2	1.8	0.4	3.4	0.8
ひまわりの種子	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.1	0.034	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
なたね	0.1	0.034	0.6	0.2	0.4	0.1	0.5	0.2	0.5	0.2
その他のオイルシード	0.1	0.034	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	15	0.665	99.0	4.4	15.0	0.7	55.5	2.5	141.0	6.3
その他のスパイス	0.6	0.16	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のハーブ	35	7.18	31.5	6.5	10.5	2.2	3.5	0.7	49.0	10.1
陸棲哺乳類の肉類	0.2	● 筋肉 0.047 脂肪 0.14	11.5	3.8	8.6	2.8	12.9	4.2	8.2	2.7
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	2	0.71	2.8	1.0	1.6	0.6	9.6	3.4	1.8	0.6
陸棲哺乳類の乳類	0.02	0.011	5.3	2.9	6.6	3.7	7.3	4.0	4.3	2.4
家禽の肉類	0.01	● 0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.03	0.01	1.2	0.4	1.0	0.3	1.4	0.5	1.1	0.4

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	一般 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
計			561.4	127.4	291.8	75.3	488.5	118.3	669.2	143.8
ADI比 (%)			106.1	24.1	184.2	47.5	87.0	21.1	124.3	26.7

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

ばれいしょ、牛の筋肉、牛の脂肪、牛の肝臓、牛の腎臓及び鶏の卵については、JMPKの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

## ジフェノコナゾール推定摂取量 (短期) : 一般(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用 いた数值 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARFD (%)
米 (玄米)	米	0.2	0.2	1.3	1
小麦	小麦	0.1	0.1	0.1	0
大麦	大麦	0.1	0.1	0.1	0
	麦茶	0.1	0.1	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.1	0.1	1.1	0
そば	そば	0.02	0.02	0.0	0
大豆	大豆	0.05	0.05	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.1	0.1	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.1	0.1	0.9	0
キャベツ	キャベツ	2	2	19.1	8
カリフラワー	カリフラワー	2	2	14.8	6
ブロッコリー	ブロッコリー	2	2	12.0	5
その他のあぶらな科野菜	たかな	2	2	15.7	6
	菜花	2	2	5.5	2
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	2	2	11.3	5
	非結球レタス類	2	2	8.1	3
	レタス	2	2	11.5	5
たまねぎ	たまねぎ	0.2	0.2	1.6	1
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	6	6	22.9	9
にんにく	にんにく	0.2	0.2	0.1	0
アスパラガス	アスパラガス	0.03	0.03	0.1	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	9	9	15.9	6
	らっきょう	9	9	9.6	4
にんじん	にんじん	0.2	0.2	0.9	0
	にんじんジュース	0.2	0.2	1.4	1
パセリ	パセリ (生)	10	10	1.6	1
	パセリ (乾燥)	10	10	8.9	4
セロリ	セロリ	10	10	55.1	20
その他のせり科野菜	せり	0.5	0.5	0.8	0
トマト	トマト	0.6	0.6	6.6	3
ピーマン	ピーマン	2	2	5.1	2
なす	なす	0.6	0.6	3.9	2
その他のなす科野菜	とうがらし (生)	1	1	1.6	1
	ししとう	1	1	1.0	0
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.7	0.7	4.4	2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.7	0.7	6.9	3
	ズッキーニ	0.7	0.7	5.1	2
すいか	すいか	0.1	0.1	3.3	1
メロン類果実	メロン	0.05	0.05	0.8	0
オクラ	オクラ	0.6	0.6	0.9	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.7	0.7	1.1	0
	未成熟えんどう (豆)	0.7	0.7	1.2	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.7	0.7	1.4	1
しいたけ	しいたけ	0.6	0.6	0.6	0
その他のきのこ類	きくらげ	0.6	0.6	0.5	0
	しめじ	0.6	0.6	0.8	0
	なめこ	0.6	0.6	0.9	0
	エリンギ	0.6	0.6	0.9	0
	ひらたけ	0.6	0.6	0.7	0
	まいたけ	0.6	0.6	0.8	0
	えのきたけ	0.6	0.6	0.8	0
その他の野菜	ずいき	0.7	0.7	7.1	3
	もやし	0.7	0.7	1.6	1
	れんこん	0.7	0.7	4.4	2
	そら豆 (生)	0.7	0.7	2.1	1
なつみかんの果実全体	なつみかん	0.6	0.6	7.5	3
レモン	レモン	0.6	0.6	1.3	1
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	0.6	0.6	5.6	2
	オレンジ果汁	0.6	0.6	6.0	2
グレープフルーツ	グレープフルーツ	0.6	0.6	10.3	4
その他のかんきつ類果実	きんかん	0.6	0.6	1.4	1
	ぼんかん	0.6	0.6	6.3	3
	ゆず	0.6	0.6	0.9	0
	すだち	0.6	0.6	0.9	0

## ジフェノコナゾール推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用 いた数值 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARFD (%)
りんご	りんご	0.8	0.8	11.4	5
	りんご果汁	0.8	0.8	8.5	3
日本なし	日本なし	0.8	0.8	12.1	5
西洋なし	西洋なし	0.8	0.8	11.2	4
びわ	びわ	0.5	0.5	3.6	1
もも	もも	0.2	0.2	2.7	1
すもも (プルーンを含む。)	プルーン	0.3	0.3	1.8	1
うめ	うめ	3	3	4.1	2
おうとう (チェリーを含む。)	おうとう	3	3	7.5	3
いちご	いちご	2	2	7.6	3
ぶどう	ぶどう	4	4	53.9	20
かき	かき	0.7	0.7	10.0	4
バナナ	バナナ	0.1	0.1	1.1	0
アボカド	アボカド	0.5	0.5	3.6	1
マンゴー	マンゴー	0.07	0.07	0.9	0
その他の果実	いちじく	2	2	15.3	6
ごまの種子	ごまの種子	0.1	0.1	0.0	0
ぎんなん	ぎんなん	0.03	0.03	0.0	0
くり	くり	0.03	0.03	0.1	0
アーモンド	アーモンド	0.03	0.03	0.0	0
くるみ	くるみ	0.03	0.03	0.0	0
茶	緑茶類	15	15	9.1	4

## ジフェノコナゾール推定摂取量 (短期) : 幼児(1~6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用 いた数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米 (玄米)	米	0.2	0.2	2.2	1
小麦	小麦	0.1	0.1	0.3	0
大麦	大麦	0.1	0.1	0.1	0
	麦茶	0.1	0.1	0.2	0
とうもろこし	スイートコーン	0.1	0.1	2.4	1
大豆	大豆	0.05	0.05	0.1	0
らっかせい	らっかせい	0.1	0.1	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.1	0.1	2.3	1
キャベツ	キャベツ	2	2	31.3	10
ブロッコリー	ブロッコリー	2	2	28.8	10
	レタス類	2	2	19.6	8
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	非結球レタス類	2	0	0.0	0
	レタス	2	2	17.7	7
たまねぎ	たまねぎ	0.2	0.2	3.5	1
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	6	6	38.9	20
にんにく	にんにく	0.2	0.2	0.1	0
にんじん	にんじん	0.2	0.2	2.1	1
パセリ	パセリ (生)	10	10	1.7	1
トマト	トマト	0.6	0.6	16.3	7
ピーマン	ピーマン	2	2	13.1	5
なす	なす	0.6	0.6	9.4	4
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.7	0.7	10.2	4
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.7	0.7	11.2	4
すいか	すいか	0.1	0.1	8.7	3
メロン類果実	メロン	0.05	0.05	1.5	1
オクラ	オクラ	0.6	0.6	2.6	1
しょうが	しょうが	0	0	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.7	0.7	0.9	0
	未成熟えんどう (豆)	0.7	0.7	1.3	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.7	0.7	2.8	1
しいたけ	しいたけ	0.6	0.6	1.1	0
その他のきのこ類	しめじ	0.6	0.6	1.3	1
	えのきたけ	0.6	0.6	1.1	0
その他の野菜	もやし	0.7	0.7	2.9	1
	れんこん	0.7	0.7	7.2	3
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	0.6	0.6	16.2	6
	オレンジ果汁	0.6	0.6	10.7	4
りんご	りんご	0.8	0.8	25.7	10
	りんご果汁	0.8	0.8	27.0	10
日本なし	日本なし	0.8	0.8	23.0	9
もも	もも	0.2	0.2	8.5	3
うめ	うめ	3	3	10.2	4
いちご	いちご	2	2	21.6	9
ぶどう	ぶどう	4	4	122.5	50
かき	かき	0.7	0.7	14.6	6
バナナ	バナナ	0.1	0.1	3.8	2
ごまの種子	ごまの種子	0.1	0.1	0.0	0
茶	緑茶類	15	15	14.4	6

(参考)

これまでの経緯

平成 5年	4月28日	初回農薬登録
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成21年	5月29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ピーマン、なす及び茶等）
平成22年	9月24日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	11月 8日	インポートトレランス設定の要請（高麗人参）
平成22年	12月20日	インポートトレランス設定の要請（トマト等）
平成24年	3月15日	インポートトレランス設定の要請（スカッシュ等）
平成24年	10月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成26年	4月24日	残留農薬基準告示
平成26年	1月20日	インポートトレランス設定の要請（とうがらし）
平成26年	8月13日	インポートトレランス設定の要請（チコリ等）
平成26年	9月 9日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年	3月 3日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成27年	5月26日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成27年	9月10日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会



● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当部長
○大野 泰雄	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐々木 一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
佐野 元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村 睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部組合員活動部部長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授
鱈淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○：部会長)

答申(案)

ジフェノコナゾール

食品名	残留基準値	
	ppm	
米(玄米をいう。)	0.2	※今回基準値を設定するジフェノコナゾールとは、農産物にあつてはジフェノコナゾールのみとし、畜産物にあつてはジフェノコナゾール及び代謝物D[1-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)エタノール]とする。
小麦	0.1	
大麦	0.1	
ライ麦	0.1	
とうもろこし	0.1	
そば	0.02	
大豆	0.05	
らっかせい	0.1	
ばれいしょ	0.1	
てんさい	0.3	
西洋わさび	0.4	
キャベツ	2	
芽キャベツ	2	
カリフラワー	2	
ブロッコリー	2	
その他のあぶらな科野菜 <sup>注1)</sup>	2	
サルシフィー	0.4	
チコリ	0.08	
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	2	
その他のきく科野菜 <sup>注2)</sup>	0.6	
たまねぎ	0.2	
ねぎ(リーキを含む。)	6	
にんにく	0.2	
アスパラガス	0.03	
わけぎ	9	
その他のゆり科野菜 <sup>注3)</sup>	9	
にんじん	0.2	
パセリ	10	
セロリ	10	
その他のせり科野菜 <sup>注4)</sup>	0.5	
トマト	0.6	
ピーマン	2	
なす	0.6	
その他のなす科野菜 <sup>注5)</sup>	1	
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.7	
すいか	0.1	
メロン類果実	0.05	
オクラ	0.6	
未成熟えんどう	0.7	
未成熟いんげん	0.7	
しいたけ	0.6	
その他のきのこ類 <sup>注6)</sup>	0.6	

食品名	残留基準値	
	ppm	
その他の野菜 <sup>注7)</sup>	0.7	注7)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きこの類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
なつみかんの果実全体	0.6	
レモン	0.6	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.6	
グレープフルーツ	0.6	
ライム	0.6	
その他のかんきつ類果実 <sup>注8)</sup>	0.6	
りんご	0.8	注8)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
日本なし	0.8	
西洋なし	0.8	
マルメロ	0.8	
びわ	0.5	
もも	0.2	
ネクタリン	0.7	
あんず(アプrikottを含む。)	1	
すもも(ブルーを含む。)	0.3	
うめ	3	
おうとう(チェリーを含む。)	3	
いちご	2	
ぶどう	4	
かき	0.7	
バナナ	0.1	
パパイヤ	0.2	注9)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
アボカド	0.5	
マンゴー	0.07	
パッションフルーツ	0.05	
その他の果実 <sup>注9)</sup>	2	
ひまわりの種子	0.02	
ごまの種子	0.1	
なたね	0.1	注10)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。
その他のオイルシード <sup>注10)</sup>	0.1	
ぎんなん	0.03	
くり	0.03	
ペカン	0.03	注11)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。
アーモンド	0.03	
くるみ	0.03	
その他のナッツ類 <sup>注11)</sup>	0.03	
茶	15	注12)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
その他のスパイス <sup>注12)</sup>	0.6	
その他のハーブ <sup>注13)</sup>	35	
牛の筋肉	0.2	注13)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
豚の筋肉	0.2	
その他の陸棲哺乳類に属する動物 <sup>注14)</sup> の筋肉	0.2	
牛の脂肪	0.2	
豚の脂肪	0.2	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2	
牛の肝臓	2	注14)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
豚の肝臓	2	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2	

食品名	残留基準値	
		ppm
牛の腎臓		2
豚の腎臓		2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓		2
牛の食用部分 <sup>注15)</sup>		2
豚の食用部分		2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分		2
乳		0.02
鶏の筋肉		0.01
その他の家きん <sup>注16)</sup> の筋肉		0.01
鶏の脂肪		0.01
その他の家きんの脂肪		0.01
鶏の肝臓		0.01
その他の家きんの肝臓		0.01
鶏の腎臓		0.01
その他の家きんの腎臓		0.01
鶏の食用部分		0.01
その他の家きんの食用部分		0.01
鶏の卵		0.03
その他の家きんの卵		0.03

注15)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注16)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。